

議案第9号関係資料－2

第2期多賀城市教育振興基本計画に対するパブリックコメント 意見一覧

- 実施期間 令和3年2月12日（金）から同年2月26日（金）まで15日間
- 結果 21名の方から36件の意見
- 意見提出方法 （入力フォーム10名、直接持参2名、郵送1名、ファクシミリ1名、Eメール6名、その他1名）
- 年代別件数（10代1名、30代5名、40代6名、50代5名、60代2名、70代1名、80代1名）

番号	ページ	意見	説明
1	11ページ	「学校・家庭・地域の教育力向上事業について」各家庭間、地域内でのつながりが希薄になる中、学校・家庭・地域の連携による「学校づくり」は必要だと思いません。今年度は、感染対策のために活動が縮小されましたが、地域全体で子どもたちの成長を見守るような子どもの居場所づくりが進められることを希望します。	今回いただいた具体的な御提案は、基本計画に沿って行う事務事業実施の際の参考とさせていただきます。
2	11ページ	4%増で向上もあれば、4%増でも横ばいがあります。指標の基準がわかりません。	指標のうごきは後期基準値（又は取得初年度）と比較した際の平成31年度の成果指標のうごきを、示しています。後期基準値（又は取得初年度）と比較し、向上や横ばいとなっているため、同じ4%増で向上もあれば、4%増でも横ばいとなっています。御意見を踏まえ、今後の指標のあり方を見直ししてまいります。
3	20-22	これからのコロナウイルス終息後の時代においては、子供たちの生活は家庭でバーチャルの世界で生活し、学校はリアルな経験をする図式が成立する時代となり、今後の学校の役割が大きく変わります。そのような時代に進むなかで、リアルな体験を重視した授業がありよいと思います。	御意見のとおり、リアルな体験を重視した授業づくりを進めてまいります。
4	21ページ	地域学校協働本部／①体制（人員配置含）、活動等についてもっと具体的に周知いただきたいです。②「コミュニティスクール」との相違を明確にしつつ、どのように連携・協働を推進していくかを（適切な時期に）提示いただきたいです。	御意見を踏まえ、今後の周知活動の参考にさせていただきます。

番号	ページ	意見	説明
5	22ページ	<p>小学校高学年、中学生の子どもの母親です。 小学校高学年から中学生の居場所を作っていたきたいと日々考えておりました。 この年代の子どもたちが、放課後や長期休暇中に過ごせる場所がありません。市内の公園ではボール遊びが禁じられており、活発に体を動かして遊びたい時期の子どもたちが、幼児連れやご年配の方に遠慮したり、注意されながら過ごしています。子どもたちが大声をあげて遊んでいたからか、警察に通報されたこともありました。親としても、近隣の方の迷惑になっていないか、ボール遊びをしたら小さなお子さんにケガをさせてしまうのでは、と感じており「公園でのびのび遊んでおいで！」と言えず、複雑な気持ちを抱えています。 多賀城市の子どもたちは、ゲームやインターネットに費やす時間が多いとありましたが、我が家の子どもや友だちを見ていると、その通りです。 でも、遊ぶ場所がないのです。自宅や友だちの家でゲームをするか、外に出ても居場所がないから、商業施設に行き、お金を使って遊んだり食べたりします。学校の約束では禁止されているのを知っていてもです。健やかな体、豊かな心を育む一番大切なこの時期、まだまだ遊びは必要です。子ども自身が一緒に過ごしたい友だちや仲間と、思い切り走り回ったり、ドッジボールやサッカーなどやりたいことのできる場所がないというのは、大変なことだと思います。</p> <p>親の手を離れ、自分たちの意思で行動し始めた年頃の子どもたちが、つながりたい友だちと安心して過ごせる場所があれば、子どもたちにとって(親にとっても)どんなにいいだろうと思います。 普通の公園で遊ぶことが難しくなった子どもたちが専有でき、無料で、大人の監視も介入も(できる限り)なく、運動やおしゃべりができる場所を設けることはできないでしょうか？ 立派な施設ではなく、最低限、校庭のような広いグラウンド(体育館もあればなおいいですね)、持参した飲み物を飲みながらおしゃべりのできるスペース、トイレがあれば…と思います。 十代の児童館のようなイメージでしょうか？ 新たに設けるのが難しければ、中央公園を平日、子どもたちが利用できる時間に解放する、体育館を週に何回か無料で利用できるようにする、などはどうでしょうか？ できれば、保護者にアンケートをとるのではなく、小学校高学年から中学生にアンケートをとって、彼らが何を望んでいるのか、どう過ごしたいのか、意見を聞いて今後の計画に役立ててほしいと願います。 体験会やイベントもいいですが、毎日遊びやスポーツができる場所が、保護者が安心するための子どもの居場所の他に、子どもたち自らが安心して生き生きと過ごせる場所が、この多賀城市にあればすてきな、と思います。 子どもが笑顔で楽しく過ごせる多賀城市、成長した子どもたちが、ずっとここで暮らしていきたいと思える多賀城市であってほしいと思います。</p>	<p>子どもたちの放課後や長期休暇中の居場所づくりは、大きな課題の一つとなっています。今回いただいた具体的な御提案は、基本計画に沿って行う事務事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>
6	25ページ	<p>(1) 課題／内容が施策と合わず、むしろ【基本的施策2-2豊かな心の育成】に適するのでは？ (1) 方向性／PTAをいれるならここが良いのでは？→「～で進めるほかPTA、幼稚園や保育所～」※32頁と関連</p>	<p>御意見を踏まえ、基本的施策2-2豊かな心の育成へと修正しました。PTAは、学校及び家庭における教育の理解と振興や、児童・生徒の学校外における生活指導などの社会教育活動を目的とする社会教育団体として、学校と家庭・地域とをつなぐ役割を持つことから、協働体制の一員として、追記しました。</p>
7	27ページ	<p>学校図書館／読み聞かせボランティアの位置づけはどのようになっているのでしょうか？生涯学習課との関係も不明です。</p>	<p>学校図書館へは生涯学習課から、司書の派遣を行っています。また、移動図書館さざんか号の各小学校への巡回を行っています。市立図書館の読み聞かせボランティア団体が、学校で読み聞かせボランティアを行うこともありますが、保護者による読み聞かせボランティアも行われています。</p>
8	27ページ	<p>教育環境等の充実の課題として、「より質の高い授業を展開する」としたのは評価したいが、施策の方向性の中の1行目にある「教職員ごとの指導力に偏りがしじょうじないよう」とあることに矛盾を感じます。偏りがしじょうじないようということは、平均化するということであり、指導力の平均化は質の高さにつながりません。つまり、課題にある「より質の高い授業の展開」にはつながりません。「より質の高い授業を目指し、教職員ごとの指導力の向上を目指す」くらいのものであれば、誰が見ても課題のための施策とは言えません。</p>	<p>御意見を踏まえ、「少人数学級の実施による教職員の増加により、教職員の指導力低下が生じないよう、また、教職員が児童と向き合う時間を十分に確保することができるよう、より質の高い授業を目指し、指導力向上に向けた研修や指導方法の工夫改善のための情報共有を行います。」と修正しました。</p>

番号	ページ	意見	説明
9	28ページ	脱字／下から5行目 誤：自分考え 正：自分の考え、ではないでしょうか？	御意見を踏まえ、誤字を修正しました。
10	28ページ	小学生の母親です。 教育のICT化ということで、毎日の荷物の軽量化を期待しています。 黒板に書き写す時間を子供達でのディスカッションなどに回して頂けると、グローバル化にも対応できるのかと思います。 また、民間ではタブレット端末での電子書籍化がかなり浸透しているの、多賀城市図書館も電子化を進めてもらい、ネット上での貸出など行って頂けると更に読書が捗ると思います。(ベネッセの進研ゼミなどで実際にあるサービスです) ただ、ブルーライト防止シートを貼り付けるなど、子供の目に配慮した付属品は市の方でも用意を検討してほしい所です。遠くの友好都市と、オンラインでのビデオ会話なども図れるので、タブレットのオンライン性を最大限に活用した授業にしたいと思っています。	御意見を踏まえ、子どもたちがICTを適切に学習に活用できるように、指導や教職員の研修を進めてまいります。今回いただいた具体的な御提案は、基本計画に沿って行う事務事業実施の際の参考とさせていただきます。
11	30、32ページ	配慮の必要な子どもに対して幼児教育での対応、小学校での対応を周知して、理解した上で現状を踏まえた就学指導に生かせると良い。入学予定の小学校で対応できないことを理解した上で入学後の相談を重ねられる機会を持つことで子どもの学校生活が安心して楽しいものにできるのではないかと。	御意見を踏まえ、配慮の必要な子どもたちがスムーズに就学できるように、きめ細やかな就学相談を進めてまいります。今回いただいた具体的な御提案は、基本計画に沿って行う事務事業実施の際の参考とさせていただきます。
12	32ページ	～PTAなど関係機関と～／PTAは当事者(いじめが発生する場合)であり関係機関ではないのでは？【市いじめ防止基本方針7頁】のように「…関係団体と児童生徒の現状について“共通理解にたち”…」というポジションであるなら理解できます。	御意見を踏まえ、「PTAなど関係機関といじめの問題も含めた児童生徒の現状について共通理解に立ち、連携して、いじめ防止に協働で取り組むように徹底します。」と修正しました。
13	32ページ	特別支援コーディネーターの必要性については、近年の特別な配慮を必要とする児童生徒の増加及びインクルーシブ教育の推進の視点からも、更なる充実が望まれます。具体的には、現在の学校現場では学級担任と兼任している場合が多く、児童生徒の実態把握及び担任や保護者との面談、更には外部関係機関との連携や必要な書類の作成など業務が多岐にわたっているの、専任としてコーディネートすることが理想です。近い将来の実現に向けてお考えいただければ、幸いです。	特別支援教育コーディネーターは学校内の教職員全体の特別支援教育に対する理解のもと学校内の協力体制を構築するとともに、関係機関との連携協力体制の整備・調整を図る重要な役割を担っております。近年、特別な配慮を必要とする児童生徒が増加しており、特別支援コーディネーターの業務が増加しております。御意見を踏まえ、特別支援コーディネーターの専任配置について、国や県への要望等取組を進めます。
14	32ページ	新1年生になる子どもは、特別支援学級に就学します。特別支援教育について教員・保護者間の理解を深めるよう市全体で対応をお願いしたいです。特に管理職は数年で異動がありますが、「校長、教頭が異動したら対応が全く異なってしまった」ということがあったそうです。また、担任教員や特別支援に関わる教職員もきちんと正しい知識を持ち、経験を積み重ねてほしいです。特に支援学級の担任は不適切な表現ですが、「あたり外れが大きい」と聞きました。「通常学級の指導がうまくできなかつたから、次の年は支援学級の担任になった」「障害についての知識は無いが、通常学級より支援学級で少人数を受け持つほうがラクそうなので希望した」という教員も中にはいると聞き、今から大変不安です。教員の資質や責任感を高め、意欲を持たせられるような職場環境づくりができるように市教委をお願いしたいです。	御意見を踏まえ、教員の資質や責任感を高め、意欲を持たせられるような職場環境づくり、研修等について基本計画に沿って行う事務事業実施の際の参考とさせていただきます。
15	33ページ	課題…相談体制を整備していきます…／児童にとってはSCでさえもハードルが高い。若年教職員の研修(25頁)とも絡むが、担任→教頭ではなく、担任→学年主任→教頭とするなど、より児童に近く(段階的に)かつ複数人に相談できる体制づくりをお願いしたいです。	御意見を踏まえ、身近な教職員による相談体制づくりへの取組について記載しました。

番号	ページ	意見	説明
16	34ページ	<p>全体を通じて、5年後を見据えながら教育環境や教育的課題を的確に捉えた上で、今後の基本計画が平易な言葉で分かりやすく表現されていると感じました。気になったことを1点記します。</p> <p>基本的施策2-3 健やかな体の育成 (2) 運動好きで、たくましい児童生徒の育成 施策の方向性 P35の2~4行目の部活動に関する記載についてです。</p> <p>中学校の部活動方針については、国や県、市の部活動ガイドラインの方針に則って策定されるものと理解していました。そうであれば、「学校が家庭や生徒と話し合いながら活動方針を決める」ように誤解される表現は避けた方が良いのではないかと思います。</p> <p>そこで、次のように修正してはいかがでしょうか。 修正前「中学校の部活動に関しては、活動方針などで様々な考え方がありますが、家庭や生徒との話し合いを大切に進めます。」</p> <p>修正後「中学校の部活動に関しては、本市の部活動方針（または国や県の部活動ガイドライン）に則って策定した各学校の部活動方針を、家庭や生徒に丁寧に説明しながら進めます。」</p> <p>ご検討いただけると有り難いです。 よろしく申し上げます。</p>	<p>御意見を踏まえ、「中学校の部活動に関しては、本市の設置する学校に係る部活動の方針に則って、各学校において策定した部活動に係る活動方針を家庭や生徒に丁寧に説明しながら進めます。」に修正しました。</p>
17	35ページ	<p>学校での食育についてですが、食事は味や見た目とともに香りも大切な要素だと思います。</p> <p>ですが、学校で使用する給食着には各家庭で使われる柔軟剤の匂いが強く染み付いており、給食当番で短い時間に着用しただけでも、子どもが着ている服に匂いが移っているような状態です。</p> <p>他の洗濯物と一緒に洗うと匂い移りがあるので単体でしか洗えませんし、干している時にも酷い匂いです。</p> <p>持ち帰って来る度に、吐き気を我慢しながら洗濯～アイロンがけをしています。</p> <p>こんなに柔軟剤の匂いがして、給食の香りはわかるのだろうか、香りから美味しそう！と感じられているのだろうか疑問に思っています。</p> <p>学校からは柔軟剤等で起こる化学物質過敏症についてのお便りも来ますが、いつ、誰がなってもおかしくない疾患だということもあります。</p> <p>(市内でも、コトリコーヒーさんが化学物質過敏症になり、柔軟剤のにおいからお店を閉店しなくてはいけなくなった実害もありました)</p> <p>子どもたちは大丈夫とは言い切れません。</p> <p>せっかく栄養士さんが毎日の献立を考えてくださっているのに、食事の香りが柔軟剤の香りではわからないことがないように、万が一、化学物質過敏症になる子が出ないように、香害についても取り上げたり、給食着は柔軟剤は不使用で洗濯する等の活動もして頂けたらと思います。</p> <p>料理の香りがしっかりわかると、どんな出汁が使われているのかや、香味野菜やスパイスが入っているのか等で、食事をしながらクイズ形式の食育もできて、食事に対する興味を持つきっかけの1つにもなるのではないのでしょうか。</p>	<p>化学物質過敏症については、引き続きお便りの配布等で情報提供を行います。</p> <p>また、体操着や給食着など衣服等の「香害と化学物質過敏症」に関する啓発を行います。</p> <p>なお、学校現場では、化学物質過敏症の児童生徒に影響の少ない教科書を、希望する方に提供する旨のお知らせを各学校において行っております。</p>
18	37ページ	<p>課題…臨機応変な行動が取れる…／同感です。日々の避難訓練等を活用しつつ育成願います。</p>	<p>御意見のとおり、災害時等に臨機応変な行動が取れるよう取組を進めてまいります。</p>
19	37ページ	<p>交通事故が少ない市ということをもっと子供達にアピールしたい。</p> <p>市としても、横断歩道やスクールゾーンを見直してより交通事故ゼロめざしてほしい。</p> <p>近所だと、ミニストップ城南店とファミリークリニックの交差点 歩行者が青信号の時に右折左折の車が歩行者を確認せずに曲がって来る、矢印信号のタイミングや注意を促す看板など考えてほしい。</p> <p>もう一つ、近所だと、城南歯科からミニストップまでの間に信号がなく、ヤマザワに向かう人、ヤマザワから出てくる人が、横断歩道のない所で車の切れ待ちしてる人が多く見られる。</p> <p>東田中の新しい道が開通してからはなかなかの交通量なので怖い。</p> <p>小中学校が近いので、より気になって不安を感じるし教育の面でもいい状況ではないように思えます。</p> <p>気づく限りではこのくらいですが、別の場所でも見直しが必要な道路がたくさんあると思う。</p> <p>そこを見直して、子供達に交通ルールの意識を高めていけたらいいと思います</p>	<p>御意見のとおり、通学路上には交通量の多い箇所や見通しの悪い場所等があり、児童生徒の安全確保が課題となっております。学校において、子どもたちへの継続した交通安全指導を行うとともに、家庭・地域、関係機関等と連携した取組を進めてまいります。</p>

番号	ページ	意見	説明
20	38ページ	(4)施策の方向性…PTAと協議を行ない…/PTA内部でいつの間にか審議(決定)されることがないようにお願いします。それ以前に、「コミュニティスクール」についてこのような方向性にあることを保護者に周知、アンケートをとるなど意見を求めたほうが良いのではないのでしょうか？	御意見を踏まえ、コミュニティ・スクール設立に向けては保護者や地域住民等への丁寧な周知活動、情報提供を行い進めてまいります。
21	40ページ	家庭での読書への意識が高まるのが児童生徒の読書意欲の向上につながると思う。市民家読の日など市を上げての読書の取り組みなども考えてみるといいのではないか。	今回いただいた具体的な御提案は、基本計画に沿って行う事務事業実施の際の参考とさせていただきます。
22	43ページ	「史都」にふさわしい武道のまちづくり 多賀城市は、その名が示すとおり古くは蝦夷と朝廷それぞれの強者が戦い、現代においては陸上自衛隊の駐屯地として他の市町村には見られない「なぎなた」や「銃剣道」などの武道が行われてきた。また、中学校における「弓道」部の存在は、全国的に見ても珍しいが、本市においては4校中実に3校が設置しており、多くの生徒が弓道に親しみ、総合体育館などでも地元弓道会の方々にかわいがられ世代間の交流を生み出している。 本市の持つこうした背景、魅力は今後大いに着目されてしかるべきであり、全国否世界に向けて発信する価値のあるものとする。野球やサッカーといったメジャースポーツは、競合選択肢の多さから、交流人口を増加させる手段としてはその効果は期待できないが、「武道」の分野は、先駆けたり得る可能性を秘めている。特に「弓道」は国内外に多くの愛好者が存在し、年齢・性別を問わず競技に参加できる特性を持つ。ドイツをはじめ欧州にも愛好者が多い。阿波野「弓聖」の出身地でもある本県は、歴史的にも弓道の聖地として名乗りを上げる資格があると思う。 具体的には、現在整備が進められている多賀城南門地区に隣接する旧東北歴史資料館もしくは東北学院大工学部キャンパスを譲り受けて改修し、「なぎなた」「銃剣道」を含めた広汎な武道競技施設として、全国レベルの大会・イベントの場とすることによって、南門を中心とした歴史公園の価値・あやめ祭りや大伴家持に関する文化イベント等と合わせて、姉妹都市である太宰府市のような交流人口の大きい特徴のある地方都市に成長できるのではないかと考える。	今回いただいた具体的な御提案は、基本計画に沿って行う事務事業実施の際の参考とさせていただきます。
23	46ページ	なぜ多賀城跡が重要なのか、特別史跡に指定されたのかを追記すべき	御意見を踏まえ、「昭和41年には東北古代史を解明する上で、極めて重要であることが認められ、」と記載しました。
24	49ページ	立体的に復元整備する意義を示してはいかがか	御意見を踏まえ、「古代東北地方の政治・文化の中心として、また、奈良時代には東北経営の軍事拠点であった多賀城の南門等復元整備は、多賀城の重要性を体感できる野外博物館的空間として歴史を活かしたまちづくりに寄与するとともに、東日本大震災からの復興の象徴を形作るものです。」と記載しました。
25	49ページ	南門復活に関して 現段階から完成に向けて南門復活完成対策協議会(仮称)を立ち上げて、完成時における訪問者への対策を立てておく必要がある。	今回いただいた具体的な御提案は、基本計画に沿って行う事務事業実施の際の参考とさせていただきます。
26	49ページ	奈良市から寄贈された大ホーキを1300年記念行事に併せて活用方法を今のうちから立てておいてもらいたい。南門完成に向けて1300年祭りに御披露してもよいと思うが、DVDに作成して販売したらどうでしょうか。考えてみてください。	今回いただいた具体的な御提案は、基本計画に沿って行う事務事業実施の際の参考とさせていただきます。
27	52ページ	多賀城八幡小では鹿踊の踊りについても継承しているが他の小学校等でも総合の時間などを活用して鹿踊を知ったり、踊りを見せてもらったりする機会があると市内の子どもたちにより認識されていくのではないか	今回いただいた具体的な御提案は、基本計画に沿って行う事務事業実施の際の参考とさせていただきます。

番号	ページ	意見	説明
28	52ページ	<p>民族芸能等の支援に関して 後継者育成にご尽力されている皆様のご苦勞に敬意を表します。後継者不足は多賀城のみならず、他地域でも大きな問題だと思ひます。一般の人々に”なじんでもらう”ことが大切だと思ひますので、お囃子や映像を公共施設などで繰り返し流してみることが大切かと思ひます。特に、幼い子供たちにリズムや音を聞かせることなど考へてはいかげでしょうか。</p> <p>幼稚園や小学校校などで旧食事や掃除の時間などに音を流すなどすると知らず知らず体感できるのでは。いずれ、多賀城から広い場で活躍する子供たちにとって郷土の芸能はアイデンティティになる大切なものと思ひます。</p>	<p>今回いただいた具体的な御提案は、基本計画に沿って行う事務事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>
29	36ページ	<p>給食のアレルギー対応ですが、現在多賀城市では「給食の一部停止」で対応しています。文面を読むとアレルギー対応食を提供しているように受け取れます。誤解を避けるためにも訂正して下さい。また、アレルギー対応の個別指導には、医師の診断に基づく「学校生活管理指導表」の提出が必要です。文科省と県教育委員会からも通達が出ているのだから多賀城市でも導入すべきです。診断に基づかず保護者の意見だけで対応することは、本来必要のない作業も増え給食調理現場や学校で対応する児童生徒の人数を多くし、学校での対応をより複雑にし、事故の発生リスクを高めてしまう場合があります。また診断があれば、運動誘発性アナフィラキシーショックなど、直接学校給食が関係しないアレルギーにも対応できます。山梨県教育委員会が作成した「学校におけるアレルギー疾患対応マニュアル(改定版)H31.3月」が資料として読みやすく参考になります。</p>	<p>御意見を踏まえ、今後学校生活管理指導表」の提出に向けて、「児童生徒のアレルギー疾患に関する実態を把握し、アレルギー対応の個別対応を行うための取組を進めます。」へ修正しました。</p>
30	学校教育の充実	<p>以下意見を記述いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> *自然体験の充実 *競わないスポーツ体験により運動する楽しさ・重要性を授業や遊び等に取り入れ肉体と精神の強さや豊かさを育む *災害時でインフラが機能していない場合に役に立つ技術(キャンプ等)を定期的に実施 *学校に行きにくい、また行けない理由がある場合駆け込める場所(フリースクール等)の充実・または窓口の設置 *いじめをしている生徒又はその家族に対するケアの充実(いじめはしている方に原因あるという観点から) *学校等で畑などを作り農業体験・できた作物で調理など *お金の授業 *様々な分野で子供たちの興味の幅を広げられるよう多様なゲストをスピーカーに招き講演など(ネットなどで幅を全国に) *性教育の充実 *放課後に気軽に誰でも行けるおもしろい遊び場・施設 *市内での学校間での交流イベント <p>この街で育って良かったと思えるような そしておもしろいことをやってるから移り住んでみようかなと思えるようなそんな街になるといいなと思ひています。</p> <p>どうぞ宜しくお願いします。</p>	<p>今回いただいた具体的な御提案は、基本計画に沿って行う事務事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>

番号	ページ	意見	説明
31	学校教育の充実	<p>子供達の未来の為に、教育に力を入れてほしいです。全国的に学力の高い秋田や富山の授業形式を取り入れていくのはどうでしょうか？学力だけではなく、自制心や自立心も育めるような指導が形になっていけば、自ずと生まれ育った多賀城市に貢献したいと考える若者も増えるのではと思います。ちなみに秋田は宿題を通して自学する力が身に付いているらしく、それが学力の基礎となっているのではと思います。教師の友人に見解を聞いたところ、秋田の教師の皆さんは長く勤めているベテランの先生方が多く、個性は様々ではありますが生徒や親御さん達への対応力にも長けているのも一因なのではとの事でした。なので現場での採用形式を変えることはなかなか難しいとは思いますが、ベテランの先生と若手の先生とのバランスを良く配置して頂ければ、新任の先生1人が背負い込む事もなく、うまく回る事ができるのではないのでしょうか。</p> <p>また、生徒の意欲によってプラスで宿題を出したり、保護者の同意の元で先生方の負担にならない範囲で追加学習ができたりすると、子供のやる気に繋がるかもしれませんね。塾となると、主に金銭的負担により敷居が高かったりするので、とてもありがたいです。</p> <p>しかしながらそれぞれの家庭により教育方針も違うので難しいですね。簡単に出来ることではないのを承知でこの意見を書いています。今すぐには無理でも、緩やかにでも底上げできたら嬉しいです。学力が全てではもちろんありませんが、子供達の将来の選択肢が一つでも増えたら良いなあと思います。</p> <p>市で、学習教室のようなものが作れたら素敵ですね。聞いた事はありませんが(^_^;) 大人も通える、生涯学習センターはいかがでしょう？編み物やダンス、料理、英語等々、文化センターをもっと幅広く利用していけるような…講師の方々をお呼びするのも大変と思いますが、賑やかで面白そうです。</p> <p>文化財に関しては、塩竈神社の集客をパックのように利用して博物館や城跡巡りに繋げていく事、ポケモンマンホールのようにオタクを取り込む事で多賀城の良さが広まれば良いなあという短絡的な考えしか浮かばず申し訳ありません。でもお城が完成したら賑やかになりそうですね。その時に畜産物や町に点在する個人店の方々にも繋がれば、美味しいものがたくさん広まりそうです。</p> <p>また、何か書きたい事ができましたら意見提出させて頂きます。稚拙な文章と意見で申し訳ありませんが、宜しくお願い致します。</p> <p>お忙しい中、このような駄文を読んでくださってありがとうございました。</p>	<p>今回いただいた具体的な御提案は、基本計画に沿って行う事務事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>
32	学校教育の充実	<p>土曜日の補講の実施を実行。</p> <p>水曜日の休部をやめ部活動実施し、土曜日の部活動を廃止し、数学と英語の補講時間に割く。特に成績が乏しい生徒のために教育者から積極的に声かけを実施し学習の理解の遅れを無くするために全力を注ぐ必要がある。現在、水曜休部の日に希望者を対象に補講を行っている事を年度末に初めて知った方もいるようです。</p> <p>成績が低い生徒が先生に積極的に声を掛けるのはストレスだと考えます。先生から声を掛けを実施し強制的に実施して下さることを強くお願いします。水曜休部の日が小テストの再テストの日に当てられています、解き方がわからないまま答えを暗記し受けているので意味がありません。先生は点数だけを見て、生徒が理解したかどうかまでは追及しません。定期テストも間違えた問題の答えを数回書かせなんの意味があるのかと思います。</p> <p>生徒が聞きに来るのを待つのではなく、先生から生徒のために学習に誘って、わからないところをそのままにしないという姿勢を見せつけ、一緒になって生徒の意識を高めていただくことを切に思います。成績が低い出来るふりをしている生徒を見て見ぬふりをしないで、生徒のための補講時間を土曜日に設けていただき、学力向上のため軌道修正のほどお願いします。</p>	<p>引き続き学力向上のための取組を行います。また、ICTを活用した自宅学習のあり方についても検討を進めます。今回いただいた具体的な御提案は、基本計画に沿って行う事務事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>

番号	ページ	意見	説明
33	学校教育の充実	<p>小学校高学年、中学生の子どもの母親です。 小学校中学校ともにカバンが重く背中に背負うまで大変です。一度どの位重いのか持ってみてください。金曜日には、体操服、上履きも持ち帰ります。月曜日必ず持っていきます。えのぐセット持参の月曜日もあります。(習字セット、夏は水着、今は水筒)お弁当持参もあるかもしれません。体の大きい子は何とか背負っている。小さい子も。考えてみてください。お願いします。</p>	<p>児童生徒の通学における重い荷物の軽減対策については、平成30年の文部科学省事務連絡「児童生徒の携行品に係る配慮について」で示された工夫例を基に、小中学校ごとに「学校においていい一覧表」などを作成し、負担軽減に取り組んでおります。また、長期休業前には、持ち帰る日の分散や曜日について配慮を行います。日頃から学校に置いていくことを認めているものや長期休業前に持ち帰るものについては、保護者に情報提供を行い、周知を行います。</p>
34	学校教育の充実	<p>・小中学校へ作業療法士の配置を提案させていただきます。 1. 発達障害の早期発見→例えば先生方から、発達障害がある疑いの生徒がいると相談を受けると生徒を評価し、関連機関への連絡が迅速に行うことができる。→先生方、保護者への対応のアドバイスや本人への治療を行うことができる。 2. いじめへの対応→スクールカウンセラーと連携、他職種とも連絡し、作業を持って治療ができる 3. 病児生徒の受け入れが可能 →痰吸引など、看護師と連携するなど、学校へ通えるか評価をし、通うために先生方にアドバイスができる●アメリカでは、学校に1人は作業療法士が勤務しており、生徒達の支えとなっていると聞きます。日本では、山梨県などの少数で配置されておりますが、まだまだ配置されていない状況です。それを多賀城市が率先して実施することで、教育の充実した街として全国へ発信できるのではないのでしょうか？</p>	<p>発達障害等の特別な支援を必要とする児童生徒は増加傾向にあり、専任の特別支援コーディネーターの整備等様々な課題があるところです。今回いただいた具体的な御提案は、基本計画に沿って行う事務事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>
35	全体	<p>第2期多賀城市教育振興基本計画の策定お疲れ様でした。 時代の要請、市の課題等に真摯に向き合い、欲を言えばきりがありませんが、現時点で考え得る、対応を求められる施策がほぼ網羅された計画になっていると思います。学校現場でも、常にこの計画を念頭に置くよう心掛け、教育活動を推進していきたいと思います。</p>	<p>今後、本計画を踏まえ、各施策を進めてまいります。 また、情報発信に努めるとともに、随時見直しを行います。</p>
36	全体	<p>小学3年生と新1年生児童の親です。計画を立てるのは良い事だと思いますが、各項目に細かい数値目標を設定することは反対です。教育は自動車等の売り上げ目標とは違い、数字で一律に判断できないと思うからです。学力向上などの数値目標をノルマのようにしたらそれにとらわれて学校教職員の負担が一層増し、児童生徒も学校生活が楽しめなくなると思います。数値目標等の設定をして結果的に教職員や実際に学ぶ児童生徒の負担を増やすことのないようにして下さい。</p>	<p>御意見のとおり、数値化できない目標や成果も様々あります。まちづくりアンケートの結果等を参考とし、事務事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>